

ポイント

小売り業界におけるEC市場の拡大を捉え、 新時代の物流システムづくりをサポート

- 流通加工、受発注代行、コールセンター業務などを活用し、物流をトータルサポート
- 東南アジア向けに再販マーケットを持ち、過剰在庫リスクを低減する事業を確立している
- 物流アウトソーシングのニーズを的確に捉え、総合物流サービスを提供、物流効率化に貢献

企業基本情報

所在地	埼玉県戸田市早瀬 1-24-1
電話/FAX	048-422-0581/048-422-0683
URL	http://www.noguchi-soko.co.jp
代表者	代表取締役社長 野口 英徳
設立	1968年
資本金	3,400万円
従業員数	100人



会社概要

生産者と販売者を結ぶ【総合物流システムづくり】を目指し、商品保管、管理から事務代行、アッセンブリーシステム（商品加工システム）、オンライン化、TQC（総合品質管理）、人材の育成を実践。特にインターネット通販業向けの小口配送や中小企業・ベンチャー企業向けの物流システム構築に独自のノウハウを有し多数ある競合他社と差別化を図っている。



従業員一同

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

▶▶▶ ネット通販業者向けに在庫管理等を代行するワンストップサービスを提供

中小ネット通販業者の業務負担を軽減すべく、従来の倉庫業務に加え、通販向け基幹システム開発、通販用ホームページ制作業務、顧客対応コールセンター業務並びに受発注代行業務、物流加工業務、販売促進支援業務といった新役務を開発し、中小ネット通販事業者へのワンストップサービスを提供している。中小のネット通販業者は、商品開発、商品調達などのネット通販の基幹業務に、限られた経営資源を集中的に投入することが可能となり更なる業績拡大が期待できる。



倉庫内の様子

▶▶▶ 海外発送リユースサービスで問題解決

販売最盛期を過ぎた商材の在庫についてリユース事業を展開。荷主企業より廃棄対象商品を提供してもらい、タイ、カンボジア、マレーシア、フィリピン等の東南アジア諸国向けに再販（販売チャネルは主に海外オークション）する事業を行っている。死蔵在庫は、在庫の評価損に加え、その廃棄費用の負担も大きいですが、当該サービスにより、廃棄処分コスト等の在庫ロス費用負担を軽減する。また、死蔵在庫を単に廃棄するのではなく、リユースすることで、社会的費用の軽減にもつながる。



輸出対象地域

▶▶▶ 物流アウトソーシングのニーズへ対応

独自の物流システム構築により在庫管理、ピッキング、梱包、発送～購買者へのお届けまでのトータルサポートを実現。また繁忙期の人員コントロールや様々な規模の物流にも対応している。効率化をはじめとした物流アウトソーシング全般への対応等、質の高い物流サービスを提供し、荷主企業の物流合理化、コスト削減に寄与する取組が高く評価されており、今後も継続的な受注獲得が見込まれる。



総合物流サービス